

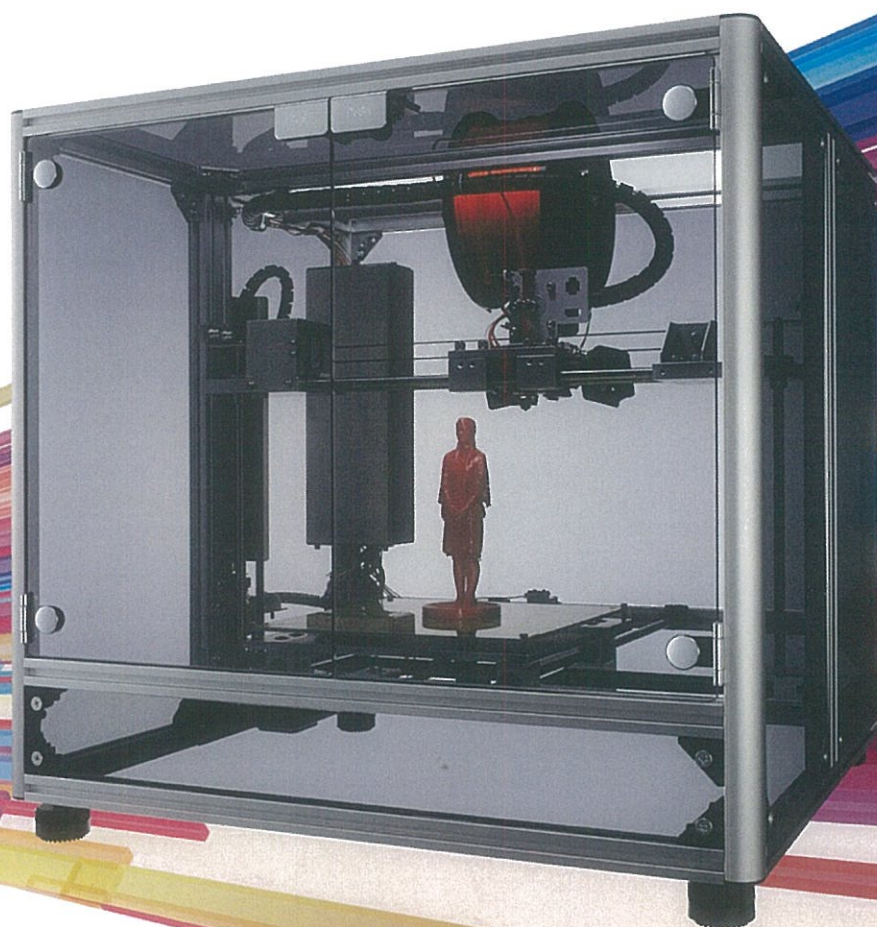
# MUTOH

Value  
3D MagiX



パーソナル3Dプリンタ MF-1000

イメージをリアルに再現。  
パーソナル3Dプリンタ誕生。



最小積層  
0.1mm  
(100 $\mu$ )

高精度造形を  
実現する  
高剛性ボディ

高解像度の  
高い再現力

ABS & PLA  
多彩なカラー  
フィラメント

フィラメント径  
1.75 & 3mm

オープンリール  
方式

ヒーター付  
成形テーブル  
装備

ダブル  
冷却ファン  
搭載

Z軸両持ち  
テーブル

使いやすい  
安心の  
日本語対応  
ソフト

豊富な  
パラメータ  
設定可能

万全の  
サポート  
サービス

# アートからインダストリアルまで、 描いたイメージを簡単に立体化できる3Dプリンタ。

思い描いたイメージを、3Dデータから高精度にカタチにできます。  
高精度を身近にした日本製3Dプリンタ。  
ソフトウェアも日本語対応、サポート体制も安心です。



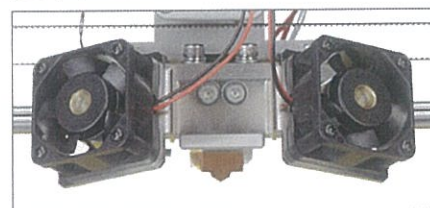
## ■ 高精度な造形を実現する高剛性ボディ。

従来のパーソナル3Dプリンタは、フレーム剛性が低くプリント精度に影響がありました。MF-1000は、高剛性ボディとZ軸両持ちテーブルを組み合わせることで、業務用に迫る高精度な出力を可能にしました。



## ■ 造形物を適切な温度に冷却する ダブル冷却ファン搭載。

高精度な造形のためには、出力された造形物を適切な温度にスピーディに冷却することが重要です。MF-1000は、二つのファンが素早く造形物を冷却し硬化させます。



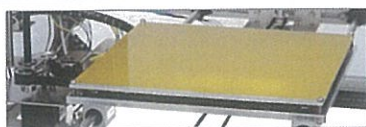
## ■ 積層レイヤーは100マイクロン。 高解像度造形を実現。

MF-1000は、最大20cm×20cm×17cmの造形が可能です。積層レイヤーは100マイクロンを採用し、手軽に高精度に3Dデータを立体化します。熱溶融積層方式でランニングコストも低減できます。



## ■ 温度変化による変形を抑える ヒーター付き成形テーブル。

成形テーブルを一定の温度に保つヒーター付き成形テーブルの採用により、樹脂の急激な温度変化による収縮と反りを抑え、高精度な造形を実現します。



## ■ 風の影響を防ぐ スモークアクリルカバー。

筐体をスモークアクリルカバーで覆うことにより、周辺の風の影響による冷却ムラを防ぎ、安定した高精細な3Dプリントが可能です。



## ■ フィラメント供給はトラブルが少ない オープンリール方式を採用。

低価格・高品質の純正フィラメント（ABS樹脂・PLA樹脂）をご用意。多彩なフィラメントで、さまざまなカラーバリエーションの造形が可能です。フィラメント径は1.75mmと3mmを用意。新しい色も随時リリース予定です。また、供給時のトラブルなどが少ない、垂直設置型のシンプルなオープンリール方式を採用しています。

## ■ 日本語対応ソフトウェアを装備。 専用窓口で安心サポート。

直感的に操作ができる日本語 Pronterface、Slic3r（日本語マニュアル付属。後に日本語対応予定）を標準装備。さらに日本語サイトのサポート、専用カスタマーセンターによるサポート体制を整えています。（セットアップ作業は有償にて承ります）

### ■ 製品仕様

型式	MF-1000
造形方式	熱溶融積層(FDM)方式
最大造形サイズ	X × Y × Z 200 × 200 × 170mm
Z軸解像度	最小積層ピッチ 0.1mm
	最大積層ピッチ 0.5mm
使用材料	ABS/PLA (φ3.0mmが標準) ※ヘッド交換によりφ1.75mmも使用可
サポートOS	Windows 7, Windows 8

### ■ 消耗品

ABS	フィラメント(各1kg) 白、赤、黒、青、蛍光緑、 蛍光オレンジ、透明他 ※新色リリース予定。	5,000円 (税込5,250円)
PLA		
ポリイミドテープ		6,000円 (税込6,300円)
ヒーターヘッド		10,000円 (税込10,500円)

▲安全に関するご注意 商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

# MUTOH

株式会社 ムトーエンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3

営業時間：9:00～17:00（土日、祭日を除く）

カスタマーセンター：☎ 0120-147-610

FAX：03-6758-7134

専用WEBサイト：<http://www.mutoheng.com/3d>

E-mail：info.3d@mutoheng.jp

※本カタログに記載された内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。  
※本カタログに記載された社名、各製品名、サービス等は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

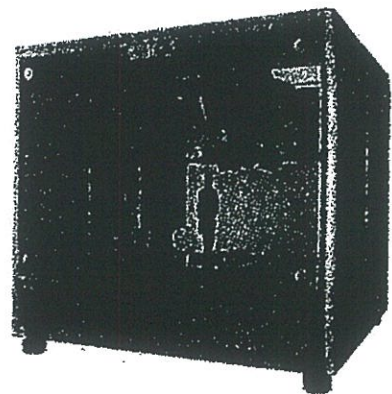
# 3Dプリンター製販

## MUTOH 自社開発品を投入

MUTOHホールディングスは自社ブランドによる3Dプリンターの製造・販売を始める。米大手のスリーディー・システムズの国内販売代理店として知られるが、3Dプリンターの市場性を見越して自社開発品の投入を決めた。樹脂を積層する個人向け3Dプリンターを手始めに、業務用へと展開する。造形材料も国内メーカーと共同開発。海外企業が優位な3Dプリンター市場に日本メーカー連合で風穴をあける。国内主要3Dプリンターメーカーによる3Dプリンター市場参入は初とみられる。

MUTOHは大判紙の業務用プリンター大手「1000」を開発。2などに関する技術を3Dプリンターに生かし、開発する。シリーズ化し、数年で売上高2億〜30億円の事業に育てる方針だ。

同ホールディングス傘下のムトーエンジニアリング（東京都世田谷区）が、まず初号機「バリユ



MUTOHが開発した3Dプリンター

メーカーと共同開発した。プリンター主要各社による3Dプリンターの事業化が期待されてきた。ただ、大手にとっては市場規模が小さく、これまで新規参入はベンチャーや中小企業にほぼ限られている。

ことで、同等価格の個人用3Dプリンターでは難しかった形状の造形も可能にした。造形材料はアクリロニトリル・ブタジエン・ステレン（ABS樹脂とポリ乳酸（PLA）樹脂。国内材料メーカー）の取り扱いが継続されることなどから商機があると判断した。スリーディー・システムズ製品の

日刊工業  
2013. 12. 2  
一面